

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	赤池駅周辺地域における快適なまちづくり												
計画の期間	平成28年度～平成32年度(5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	日進市												
計画の目標	本市は、人口が増加していることにより居宅を求める需要が高いため、名古屋市営地下鉄鶴舞線赤池駅に隣接する赤池町箕ノ手地区の基盤整備を進めている。駅周辺の基盤整備であることから、自転車等の交通空間を確保することと住環境整備を行うことにより、快適な生活環境の形成を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	525	A	525	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H32末)
1	赤池町箕ノ手地区の居住人口を1,385人(H27)から3,200人(H32)に増加させる。 赤池町箕ノ手地区の居住人口	1385人	人	3200人
2	地下鉄赤池駅の1日あたりの乗車人員数を9,550人(H27)から9,800人(H32)に増加させる。 鉄道駅乗車人員数 地下鉄赤池駅の1日あたりの乗車人員数	9550人/日	人/日	9800人/日
3	赤池駅北・赤池駅前・駅東駐輪場の1日あたりの利用台数を1,536台(H27)から1,600台(H32)に増加させる。 赤池駅北・赤池駅前・駅東駐輪場利用台数 赤池駅北・赤池駅前・駅東駐輪場の1日あたりの利用台数	1536台	台	1600台

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中核都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接							H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	日進市	間接	日進赤池箕ノ手土地区画整理組合	—	—	日進赤池箕ノ手土地区画 整理事業 (1-A1-1)	都市再生区画整理 A=40.6ha	日進市	■	■	■	■	■	410	—	
												小計						410	
道路事業	A01-002	道路	一般	日進市	直接	日進市	市町村 道	交安	赤池駅前線改良事業 (1-A 2-2)	赤池駅前線改良 L=177m	日進市	■	■	■	■	■	115	—	
												小計						115	
										合計							525		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
日進市社会資本整備総合交付金評価委員会：令和4年3月 外部評価により実施した事後評価（案）に対し、市民の意見を反映させるため、パブリックコメントによる意見募集を行う。	令和4年3月～5月
	公表の方法 市ホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	日進赤池箕ノ手土地区画整理事業や赤池駅前線改良事業の確実な整備を実施した効果により、子どもからお年寄りまでの誰もが快適に暮らせる生活環境の形成を図ることができ、居住人口や赤池駅の利用者も増加した。特に、大型商業施設「プライムツリー赤池」のオープンに伴い、市内外から多くの人を訪れ、赤池駅の利用者が増えたことで、地域の活性化が大きく進んだ。
定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）	特になし

○特記事項（今後の方針等）

今後も、土地区画整理事業等の着実な整備により、赤池駅周辺地域が住みやすく活力と魅力あふれるまちになるように事業の推進を図る。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	赤池町箕ノ手地区の居住人口		
	最終目標値	3200人	土地区画整理組合の事業年度が令和6年度まで延長したことに伴い、最終目標値を上回っていないものの、事業が進むにつれ、平成29年度からは毎年、前年度比11.6%～12.6%と増加した。また、地下鉄沿線に位置し、地理的利便性が高い赤池駅周辺地域にて、土地区画整理事業や駅前線の歩道改良などの都市基盤整備をしたことで、まちの魅力が増し、住宅需要が高まることから、今後も居住人口は増加していくと考えられる。
最終実績値	2402人		
2	鉄道駅乗車人員数		
	最終目標値	9800人／日	土地区画整理事業により、大型商業施設「プライムツリー赤池」がオープンしたことで、駅利用者数の増加につながったと考えられ、駅乗車人員数が平成29年度は前年度比10.6%、平成30年度は前年度比10.4%と増加し、平成29年度にて、最終目標値を上回った。令和元年度以降は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う外出自粛やテレワークの活用による影響を受け、駅乗車人員数が減少した。特に令和2年度においては、影響が大きく、令和元年度と比較して71%と大幅に減少したことで、最終目標値を下回る結果となった。
最終実績値	7699人／日		
3	赤池駅北・赤池駅前・赤池駅東駐輪場利用台数（1日あたり）		
	最終目標値	1600台	当初現況値に対して、令和元年度まで毎年、横ばいか前年度比9.8%～9.9%の緩やかな減少傾向であったが、令和2年度では前年比8.0%の大幅な減少となった。利用形態を比較すると、定期利用者が減り、一時利用者が増加している傾向が見られる。自転車は天候等によって利用が大きく左右されるため、利用者は都合よく利用できる一時利用へと徐々に移行していることや、駅への利便性の高さから徒歩での地下鉄利用も増えていると推測され、総利用台数としては減少したと考えられる。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う外出自粛やテレワークの活用による影響を受け、鉄道利用者が減少したことに起因し、令和2年度は大幅に利用台数が減少したと考えられる。
最終実績値	1186台		

(参考図面) 市街地整備

